



「補助、代替コミュニケーション手段、 コミュニケーション機器」について

パンフレット 言語・心理面-3

話しことばによるコミュニケーションが充分ではない場合、それを補う手段、あるいはそれに代わる手段が必要となることがあります。そのような手段のことを「補助代替コミュニケーション手段」、その道具を「補助代替コミュニケーション機器」と言います（以下、合わせて「補助手段、機器」と略します）。

「補助手段、機器」には、50音表や筆談など文字を使うもの、実物や実物をイメージしやすい写真や記号などを使うもの、また、身体の動きを利用したジェスチャー、手話なども含まれます。

「補助手段、機器」はそれを使う方の状態にあったものを選ぶことが必要です。例えば、「運動障害性構音障害」と、「失語症」では、有効な「補助手段、機器」は異なります。また同じ障害であっても、重症度や合併する他の症状によって、利用できる「補助手段、機器」は異なります。「補助手段、機器」を有効に活用していくためには、使う方の状態とともにコミュニケーション上のどのような問題に対して利用するのかを考えることが大切です。





主な「補助手段、機器」を紹介いたします。

・トーキング エイド



画面に 50 音表などが表示され、文字を選択して単語や文章を構成し、読み上げ機能により音声で伝えることができます。

(Ipad などのタブレット端末に種々のアプリをダウンロードして、コミュニケーション機器として使用することが可能となっています。トーキング エイド 単体での製造は中止となっていますが、Ipad にキーボードやプロテクターを装着することによって、従来のトーキング エイド と同様の使い方ができます。)

・会話ノート



・文字盤

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
い	き	し	ち	に	ひ	み	。	り	！
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る	を
え	け	せ	て	ね	へ	め	っ	れ	😊
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	ん

・コミュニケーションボード

吸引	コール	文字盤
ありがとう	ごはん	OK
布団	車椅子	トイレ
痛い	苦しい	眠い
身体	左	右
寒い	暑い	わからない

・「Drop Talk」(コミュニケーション支援アプリ)

自分たちで取った写真や既存のシンボルや記号、文字などを利用して表現することができます。読み上げ機能により音声で伝えることができます。:

